

平成24年3月15日
特定非営利活動法人
水産業・漁村活性化推進機構

巨理地域漁業復興プロジェクトにおける模型水槽実験に関する公募

漁業復興支援運営事業の実施に際し、下記により模型水槽実験業務の委託先を公募します。

【 公 募 要 領 】

1. 発注業務 : 巨理地域漁業復興プロジェクトにおける小型底びき網漁船の模型水槽実験
2. 発注業務の内容 : 別紙発注仕様書のとおり
3. 公募期間 : 平成24年3月16日(金)～3月22日(木)
4. 企画提案書の提出期限等
 - (1) 提出期限:平成24年3月22日(木)午後5時必着
 - (2) 提出場所:東京都千代田区内神田二丁目2番1号 鎌倉河岸ビル5階
特定非営利活動法人 水産業・漁村活性化推進機構
 - (3) 提出書類及び部数
 - ・企画提案書(自由形式)・・・5部
 - ・経費内訳表(自由形式)・・・5部
 - ・提出者の概要がわかる資料(過去の実績、担当者及び経歴等を含む)・・・1部
 - (4) 企画提案書の提出は、原則として郵送、宅配便、又は提出場所窓口での受け付とし、ファクシミリ又は、電子メールによる提出は受け付けません。
 - (5) 提出者の組織・業務、企画提案、経費内訳等について、必要に応じヒアリングを行います。
5. 参加条件
 - (1) 公益法人、一般企業等とする。個人の参加は認めません。
 - (2) 農林水産省競争参加資格(全省庁統一参加資格)を有すること(資格書写し提出)。
 - (3) 企業の場合は、直近決算書、納税証明書、登記簿謄本(写し可)を提出すること。

7. その他

- (1) 企画提案に関する提出書類は返却しない。
- (2) 企画提案に関する費用は提案者が負担する。
- (3) 審査内容・基準は、公表しない。

8. 採用決定

採用又は不採用を書面で通知します。

9. 問合せ先 : 東京都千代田区内神田二丁目2番1号 鎌倉河岸ビル5階
特定非営利活動法人
水産業・漁村活性化推進機構 (土・日・祝日は除く)
TEL03-6866-7111 / FAX03-6866-7114
E-Mail : kozokaikaku@fpo.jf-net.ne.jp

以上

巨理地域漁業復興プロジェクト小型底びき網漁船の模型

水槽実験業務に係る発注仕様書

1、目的

巨理地域小型底びき網漁船の安全性を確保するため、模型水槽実験による安全性の検証を行う。

2、業務発注の内容

別添の「巨理地域漁業復興プロジェクト小型底びき網漁船建造計画書」に基づき、次に掲げる実験等を行い、実験結果報告書等を作成し指定部数を提出する。

(1) 業務の内容

①模型の製作

②水槽実験（横波、旋回、向波、追波等）

③成果物の提出等

- ・実験報告書：5部、同電子媒体：5枚（CD-R）
- ・動画情報（転覆に至る状況を示す動画）：5枚（DVD-R）
- ・結果に基づく指導：巨理地域漁業復興プロジェクト

(2) 対象船の主要目

- ・漁業種類：小型底びき網漁船
- ・総トン数：9.7トン（FRP）
- ・その他：建造計画書参照

上記の他、必要なデータ等については、機構が提供する。

3、業務委託に関する条件

(1) 履行期間

契約締結日から平成24年8月末日とする。

(2) 業務スケジュール

- ・平成24年8月中旬：実験結果に関する水漁機構への報告
及び実験結果に関する成果物の納品
- ・平成24年8月下旬：実験結果に基づく地域プロジェクト等に関する指導

(3) その他

- ①業務の実施過程で知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。
- ②成果品は全て発注者の所有とし、受託者は発注者の承諾を得ないで当該成果品を公表若しくは貸与若しくは使用してはならない。
- ③この仕様書に定めのない事項については、別途発注者及び受託者が協議して決定するものとする。

以上

亙理地域漁業復興プロジェクト小型底びき網漁船建造計画書

1. 目的

亙理地域で営まれている小型底びき網漁業において、漁船の省エネ・省コスト化、安全性の向上、火光利用敷網漁業との兼業化、改良漁具の導入、及び漁獲物の高品質化を図る改革型漁船を建造し、永続的な漁業経営を推進する。

(別添 復興計画の基本コンセプト参照)

2. 船体要目は以下のとおり

・漁船種類	小型底びき網
・計画総トン数	9.7トン (FRP)
・計画航海速力	11.5ノット
・最大航海日数	300日
・主推進装置	540kw (最大出力594kw)
・発電機	主機80kVA、補機40kVA
・最大搭載人員	12人
・魚艙容積	活魚艙4.2m ³ 、天タル艙3.2m ³ 、氷庫2.1m ³

3. 主要漁労機器等は以下のとおり

・トロールウィンチ	・主機前増速機
・そで巻きホイスト	・フィッシュポンプ
・パラウインチ	・ランプ網装置一式 など

4. 一般配置図 (別添)

亶理地域漁業復興プロジェクト漁業復興計画の基本コンセプト

1. 目的

亶理地域で営まれている小型底びき網漁業において、航行と操業の安全性を高めつつ、低コスト操業と収益性の改善を重視した改革型漁船を導入し、衛生管理の向上と地域内流通の活性化や新たな販路の拡大等による漁獲物の利用・需要の拡大を図ることにより持続的な漁業経営を推進する。

2. 復興のコンセプト

(1) 生産に関する事項

① 省エネ・省コスト化

省エネ型漁船の導入、また、環境対応型の省エネエンジンの導入などにより省エネ・省コスト化を図る

② 漁船・航行等の安全性の向上

船幅を広くし船体の安定性を向上させ横揺れを軽減する。また、ブルワークを高くし船内への波の打ち込みを軽減するなどして航行及び操業の安全を向上する。

震災による漁港施設等の破損により荒天時の航行等に支障を来す恐れがあるため、隣接する閑上漁港を活用し、航行等の安全確保と操業の安定化を図る。

③ 漁労作業の改善

作業スペースの拡大と作業時間の短縮により漁労作業の安全性確保と労働負荷の軽減、作業効率の向上を図る。

④ 労働環境の改善

船員室の拡大により好適な休息環境を確保し労働環境の改善を図る。

⑤ 経営の合理化

小型底びき網漁業と火光利用敷網漁業との兼業による経営の合理化を図る。

⑥ 漁具の改良

主に離底種を漁獲対象とした改良漁具及び曳網抵抗の少ない改良漁具の実証に取り組み、収益性の改善を図る。

⑦ 漁獲物の高品質化

海水冷却装置の導入による魚艙内の水温上昇の抑制、冷海水シャワーの導入及び選別作業時間の短縮等により、漁獲物の活魚出荷率の向上と鮮魚の高鮮度化を図る。

⑧ 資源管理

漁場の立体利用により、小型底びき網漁業によるヒラメ・カレイ類の漁獲圧力を分散・低減し、資源保護を図る。

冬期のマコガレイ産卵後親魚の再放流・標識放流調査等の自主的資源管理措置を推進する。また、漁場である仙台湾の資源管理措置を遵守する。

(2) 流通・販売に関する事項

① 衛生管理の向上

洋上及び魚市場における衛生管理の向上に向け、船上では冷海水シャワーを導入し、魚市場ではブルーシート、消毒液・消毒槽等を設置する。また衛生管理マニュアルを作成し、周知徹底を図る。

② 水揚物の利用・販売の促進

改革型漁船水揚物の直売所との直接取引、また、新たな商品開発と販売促進による水揚物の利用促進を図る

イベント等での地元水産物のPRと販売を推進する。

③ 地元仲買人等との連携

新たな漁獲物となるコウナゴ・ジンドウイカ及び従来の漁獲物について地元仲買人等との連携を図りながら利用・販売を促進する。

④ 地域との連携

地域活性化と災害復興の一翼を担うべく、直売所や各種イベント等での地元水産物のPRと販売の強化を図る。

⑤ 販路の開拓

市場のニーズの高い活魚及び高鮮度な漁獲物については地元流通・加工業者の販路を活用しながら販売を促進しつつ、小売店やホテル等への直接販売等を通じて販路の開拓と需要の拡大及び被災した魚市場の機能補完を図る。

⑥ ブランド化の推進

「干しがれい」など地域特産品のブランド化を推進する。

⑦ 情報発信の取組

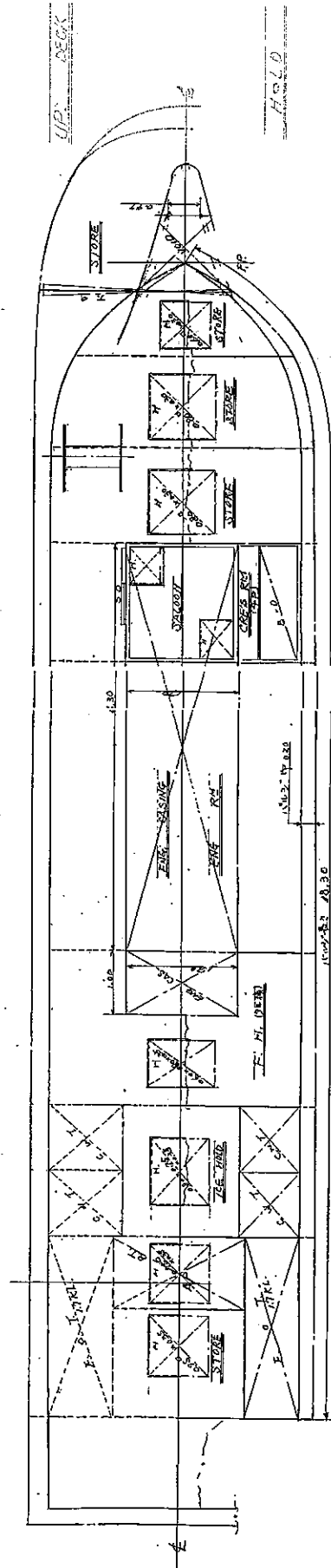
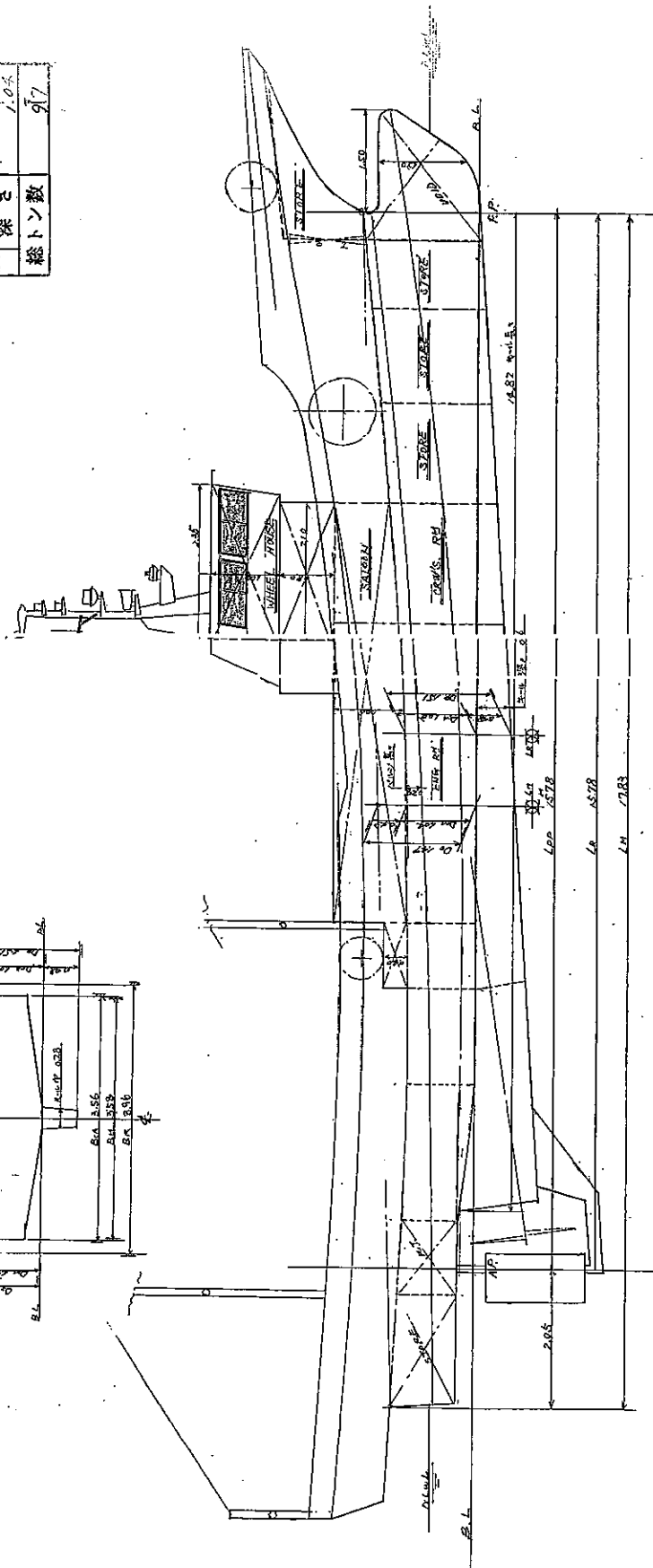
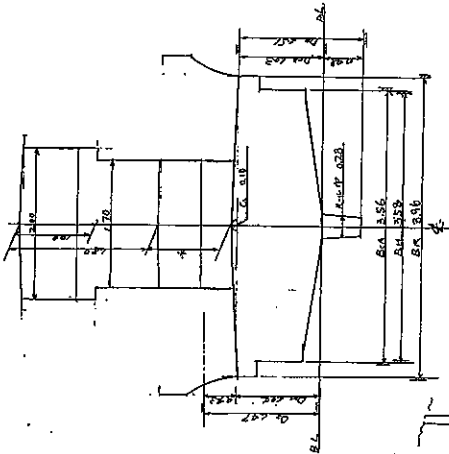
ホームページを活用し、魚市場の状況やイベント情報、また、魚介類の調理方法等の情報を提供し、亘理地域の知名度向上と地元水産物の利用促進を図る。

性能基準

種別	規定	木粉
2,000以上	2.4%	
120以下		
思力数		

主要項目

項目	長さ	1517.8
登録	幅	8.96
測度	長さ	1151
	長さ	17.85
	幅	3.53
	長さ	1.04
総トン数		97



船名	...
船種	...

中 國 郵 政 特 准 掛 号 第 1234 号
 電 報 掛 号 第 5678 号

船名	...
船種	...
船主	...
船務	...
船務	...
船務	...
船務	...